

## 第5回 島根県地域情報化戦略会議 議事要旨

### 【携帯電話不感地域の解消】

- P11の「② 携帯電話不感地域の解消」において、「携帯電話事業者と連携」とあるが、ほとんど中山間地域の不感地域の解消については、ケーブルテレビの幹線に余剰線を張って整備をしているところが多分にあるため、「携帯電話事業者「等」と連携」としてもらおうとよい。

### 【定点カメラの活用】

- 定点カメラの整備が進んできており、プライバシーの問題など様々な課題はあるが、ネットワーク化したり、オープンデータとも絡めていくことで、防災、防犯の面で活用できるツールになり得る。定点カメラの活用について、戦略に盛り込むことは考えられないか。
  - （事務局から）現状、どのような取組みが行われていて、今後、どのようなことが考えられるのか、勉強してみたい。
  - （委員から）P9の「⑤ 防災拠点における公衆無線LANの整備」のあたりに、無線LANに限らず、定点カメラも含めて、センサーやIoTの活用を追記したり、あるいは、P10の「(4) 道路管理での利活用」のあたりに、ICTを活用して、機械的・自動的に行うような取組みを追記することも考えられるのではないか。検討をお願いしたい。

### 【県立大学におけるプログラミング教育】

- 県立大学松江キャンパスの4年制化が進められているが、4年制になると、履修科目も増えていくことから、プログラミング教育のようなものを推進してもらえたらと思う。

### 【戦略の県の政策への反映】

- 戦略は今後どのような形で県の政策に反映されるのか。
  - （事務局から）戦略は県の施策の実施に当たって、ICTを活用した施策の指針となるものと考えている。戦略においては、検討段階のものも含め先取りした内容も含まれているが、戦略に沿って、各部局等で事業を具体化していくことになる。
  - また、県では、各部局主管課や主要なシステムの所管課から構成されるICT推進会議があり、この会議を通じて、毎年、戦略のフォローアップを行い、取組みの進捗状況を点検していく。

情報政策課においても、各部局におけるシステム開発に際しての技術的なフォローはもとより、ICTを活用した効果的な取組みの実施を各部局に働きかけていく役割も果たしていきたい。

#### 【大学や市町村等への働きかけ】

- 県立大学への要望や、市町村におけるオープンデータの取組みの推進など、大学や市町村等への働きかけについて、県はどのように進めていくのか。
- （事務局から）県立大学については、県立大学と県の各部局との意見交換の場を定例的に設けているので、そうした場を活用して働きかけていきたい。また、市町村におけるオープンデータの取組みの推進に関しては、県で市町村や民間事業者にもご参加いただけるようなセミナー・ワークショップを検討しており、取組みが広がっていくように働きかけていきたい。

#### 【県民への周知】

- 県民への周知について、どのように考えているか。
- （事務局から）県のホームページへの掲載を通じた周知はもちろんであるが、市町村や県民のICT利活用が進んでいくことが、県の戦略の推進につながっていく部分もあるので、県民への周知についても考えていきたい。

#### 【県民の情報リテラシーの向上】

- P20の「(4) 県民の情報リテラシーの向上」の主な取組みに、「表彰制度」とあるが、これは、現在実施している「島根あいてい達者」知事表彰を今後とも継続していくという認識でよいか。
- （事務局から）そのような認識である。

#### 【戦略の見直し】

- 戦略は今後おおむね5年間を対象としているが、時代の変化が激しい中で、5年も経たないうちに、戦略の内容が陳腐化してくることも考えられる。5年より短いサイクルで戦略の改訂など見直しを行う考えはあるか。
- （事務局から）毎年フォローアップの中で、時間の経過とともに、改訂した方がよい部分、陳腐化してきた部分などが出てくれば、5年を待たずに、内容の見直しなどを行っていきたい。